



宏友会

手稲リハビリテーションセンター

# 風車のある丘

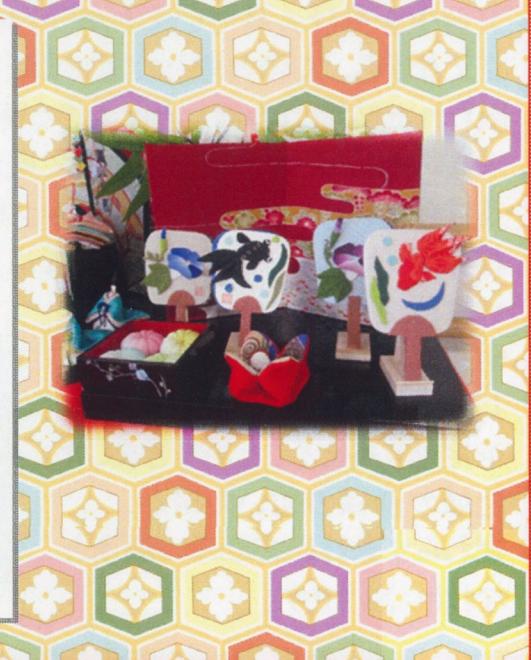
第23号(2020年11月発刊)



## 目次

- ・新型コロナウイルス感染予防
- ・地域の皆様との交流
- ・敬老のお祝い
- ・今年度の手稲リハビリテーションセンターの取り組み
- ・ユニット内レクリエーション・行事食のご紹介

表紙の写真撮影場所:手稲リハビリテーションセンター  
写真撮影:広報委員会



## 新型コロナウイルス対応における、ご家族様へのご協力の御礼

新型コロナウイルス感染予防の対応につきましては、現在条件付きのご面会再開を実施させて頂いておりますが、ご家族の皆様にもご理解ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

今後も感染状況に合わせての対応となります。冬のシーズンを迎える新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザ等例年より注意を払ってきた感染症も流行しやすい季節となっていました。

こちらについても現状の感染症対策を継続することが予防となりますので、ご理解・ご協力頂けますよう、お願い申し上げます。



### ～新型コロナ感染者発生時の対応～

日々対策を継続し、施設でのコロナ陽性者が出ないことを願う毎日ですが、万が一の備えとして、感染者が出た際の対応も準備しております。基本的には感染者が関わるユニットと他ユニットの接触を無くすこととなりますが、具体的には感染者に関わるユニットの立ち入りは限られた職員のみとし、その他の職員とは別の出入り口を設け、移動ルートを変更します。また直接の介護時は防護服(写真)を着用しクラスター予防をします。直近の活動としましては防護服の着脱方法について、全介護職員に向け勉強会を行いました。



介護防護服の着脱訓練

## 地域の皆様との交流

### ～介護福祉士養成校との関り～

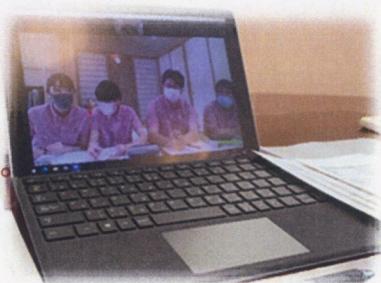
手稲リハビリテーションセンターでは例年、介護福祉士養成校の実習生を受け入れていますが、今年はオンライン授業も交えながら、入居者様との関りは極力減らしての内容となりました。限られた時間での例年とは大きく異なる実習となりましたが、未来の施設職員のフレッシュさに変わりはありませんでした。養成校との関りとして他にも、卒業生の働く姿を在校生向けに紹介するポスターのモデルとして当施設職員が選ばれました。

### ～町内会の活動～

6月、8月、10の年3回、職員による町内の公園草刈りを、予定通り終えることができました。地域の皆様の憩いの場が、変わらずきれいで明るい場所となれば幸いです。



公園の草刈り



オンライン実習のひとこま



パンフレット撮影時の写真

## 敬老のお祝い



9月18日、敬老のお祝いの会をささやかながら開かせて頂きました。今年は喜寿4名、米寿4名、白寿1名、満100歳の方2名、101歳以上の方1名の計12名の方を対象に、表彰状授与、職員・ご家族様からのお祝いメッセージ拝読、記念品贈呈、記念写真撮影を行い、お祝いしました。普段よりも改まった会場の雰囲気に、ご参加の入居者様も緊張されているご様子でしたが、表彰状を受け取る際など笑顔を見せて下さり、喜びの感想を仰って下さるなど、厳かで温かみのある時間とすことができました。今年は新型コロナウイルスで職員のみ参加となりましたが、次回は例年通り、ご家族様とも一緒に、お祝いのひと時を過ごせることを期待して、また1年、皆様が健やかに過ごして頂けるよう日々のケアに取り組んで参ります。



お祝い会の様子



表彰状贈呈の場面



昼食のお祝い膳

## 今年度の手稲リハビリテーションセンターの取り組み



〈2020年度 手稲リハビリテーションセンターの事業計画〉サービスの質の向上  
～肺炎予防委員会～

10月29日、新人職員と各ユニット代表職員を対象とした恒例の勉強会を開催、「高齢者介護の知識基礎編」と題して、脱水・誤嚥予防を中心に平成27年より継続して参りました。今年で6年目を数える勉強会となります。今回はこれまでの勉強会について参加職員にアンケートを実施、その中で出てきた疑問や気が付いた点も取り入れ、実践していくことに重点を置いた内容にリニューアルしました。新型コロナウイルスで実技など制約のある環境での勉強会となりましたが、日々のケア向上につながる時間になつたのではと思います。また誤嚥予防にも関わる口腔ケアの取り組みとして、昨年度より口腔ケアリーダーを各ユニットより選出、定期的に勉強会を開催し、ケアの統一を図っています。8月には外部の歯科衛生士を招いての研修会も実施、新たな知識や技術も得ながら、施設内の歯科衛生士を中心に、介護職員の理解を深めています。その他にも、ケア用品の管理方法の見直しも進め、ケアと物品管理の両面から、口腔ケアの強化を図っています。



10月勉強会の様子



8月の研修会の様子

## ユニットレクリエーション・行事食のご紹介

新型コロナウイルスの為、夏祭りを始め恒例の行事が中止となりお楽しみの時間が減ってしまいましたが、お部屋の中でも楽しめるレクリエーションを各ユニットで企画しました。室内夏祭りとして実施した輪投げや射的、夏の風物詩すいか割では、皆様真剣に的を狙い、普段より大きく体が動いたり、上手くいったときは歓声が上がったりと、表情豊かに熱心に参加下さっていました。その他にも、小物づくりなどの手芸、お絵かきクイズと手先や頭を使い夢中になれる時間もありました。体を動かしたら花より団子で、味わう楽しみも。かき氷やアイスクリームで暑い夏にひんやりと美味しい甘味から、お菓子やたこ焼きなどの軽食作りで、出来上がるまでも部屋いっぱいに広がる匂いに待つ時間も期待が膨らみ、和やかな午後のおやつタイムとなりました。



手作りお菓子



輪投げ



お絵かきクイズ



すいか割



射的

今年も自家作物の恵みがありました。園庭の梅の木は、昨年の大豊作があったので今年は収穫が少ないのでと様子を見ていましたが、心配はいらぬしっかりと実を付けてくれました。青梅のうちに収穫、梅シロップにして爽やかに甘酸っぱく頂きました。畑のピーマンや茄子、きゅうりも、お天気が続くとあっという間に大きくなりました。味噌炒めや酢の物、浅漬けなどに調理し、その日はいつもより品数多く、新鮮でみずみずしいお野菜を味わうことができました。秋の味覚といえばさんま。塩焼きをユニットのグリルで焼く行事が、この時期の楽しみとなっていましたが、漁獲量が少なく価格高騰とのニュースもあり、今年は別のお魚かと検討していたところ、冬を目前になんとか実施することができました。11月1日は当施設の開設記念で、感謝の気持ちのお祝い膳と、ご近所「喫茶ゆうご」さんのケーキを召し上がって頂きました。



ユニットで焼いたさんま



梅シロップ



開設記念のお祝い膳



畠で採れた茄子とピーマン